

(様式2)

「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書

平成2011年 8月 28日

所属：工学資源学部地球資源学科 学年：四年次

氏名：渡辺拓

研修先大学・機関名等（国）

：英文 University of the Philippines (National Institute of Geological Sciences)
PHILEX Mining Corporation (Padcal mine)

：和文 フィリピン大学国立地質学研究所,
フィレックス鉱山会社（パドカル鉱山）

渡航年月日：2011年7月14日

帰国年月日：2011年7月31日



○研修先での学習内容等

タパヤ鉱徴地における露頭調査、また同鉱徴地において採取されたボーリングコアの観察（TAP13、TAP12、TAP6）、及びフィリピン大学での研究発表。



(様式 2)

○研修期間の生活面について

フィレックス鉱山会社のゲストハウスに7月15日から7月27日までの間宿泊しました。炊事、洗濯等、日常生活に関することはゲストハウスの方の助けもあり、生活面で困ることはありませんでした。鉱山会社の方と一緒に食事したりすることも多く、街を案内して頂く機会も頂きました。

○研修期間全般にわたる感想

日常生活、調査、研究発表に渡って英語による会話の能力の足りなさに気づかされました。露頭調査やコア観察の際にはあまり感じませんでしたが、フィリピン大学での発表を行った際には英語でのプレゼンテーションが非常に難しく感じました。

○今後の勉学計画

今回の調査で得られたサンプル、データについて考察、化学分析を今後行っていく予定です。それに加えて、英語の会話、プレゼンテーションの練習をしていきたいです。